

学習アウトカム		科目達成レベル (肉眼解剖学)	
I. 倫理観とプロフェッショナリズム			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 責任をもって医学・医療を実践するために以下の行動ができる。			
2	倫理的問題を理解し、倫理的原則に基づいて行動できる。 ・ 献体を解剖させて頂くことを通じて、献体者・遺族の思い、学生が死体を解剖することの倫理的問題を理解する。	C 基盤となる態度・価値観を示せる ことが単位認定の要件である	
3	法的規範を遵守し、行動に責任を持つことができる。 ・ 解剖体に関する個人情報は守秘する。 ・ スマートフォン等による撮影・録画・録音の禁止を遵守する。 ・ 解剖に関する情報の漏洩禁止を遵守する。		
4	個人の尊厳を尊重し、心理・社会的要因と多様性を理解し、利他的、共感的、誠実、正直に対応できる。 ・ 考え方の違う班員同士で患者（解剖体）に対してベストな治療（解剖）を行う。 ・ 解剖体を正しく納棺し、献花して感謝を捧げる。実習感想文を提出する。 ・ 慰霊祭に出席し、真摯な態度で慰霊を行う。 ・ 献体の解剖を通じて、生前に罹患した疾病の痕跡から、献体者の社会背景を推察し、共感する。		
6	常に自己の心身と社会的状態を評価し、良好な状態（ウェルビーイング）を保つことができる。 ・ 長期にわたる肉眼解剖実習を通じ、自分のためだけでなく、献体者・遺族の思い、同僚とのチームワークにおいても、体調管理・予習・復習など自己をコントロールすることの重要性を学ぶ。		
7	他者に対して指導や支援を求めることができ、自らも指導や支援をすることができる。 ・ グループ内、グループ間で協力し、剖出や理解が難しい箇所の指導、助言ができる。		
8	自らのキャリアをデザインし、自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。 ・ 予習、復習、解剖体ごとの違いを通じて、「身体の不思議」を自ら学ぼうとする姿勢を持つ。		
II. コミュニケーション			
千葉大学医学部学生は、卒業時に			

学習アウトカム		科目達成レベル (肉眼解剖学)
良好な人間関係を構築し、情報を適切に取り扱い、わかりやすく伝えるために、以下の行動ができる。		
1	個人、文化、社会的背景を踏まえて傾聴し、共感、理解、支持的態度を示し、信頼関係を築くことができる。 ・個人の役割／責任と、グループ内／グループ間での協調性の重要性を理解し、目的を遂行するための高いコミュニケーション能力を発揮できる。	C
2	他者やそれを取り巻く状況に配慮しながら、適切な方法で、必要な情報収集や情報伝達を行うことができる。 ・個人の役割／責任と、グループ内／グループ間での協調性の重要性を理解し、目的を遂行するための高いコミュニケーション能力を発揮できる。	
Ⅲ. 医学および関連領域の知識と応用		
千葉大学医学部学生は、卒業時に 医学・医療の基盤となっている以下の基礎、臨床、社会医学等の知識を有し、応用できる。		
1	人体の構造と機能 ・骨格や関節の構成や構造について説明できる。 ・骨格筋の起始・停止・支配神経・働きについて説明できる。 ・心臓の構造およびそこに分布する血管について説明できる。 ・全身の筋および内臓に分布する血管系について説明できる。 ・消化器系，呼吸器系，泌尿生殖器系，内分泌系，感覚器系の各器官の位置と構造，機能について説明できる。 ・脳神経および脊髄神経の構成と分布部位および機能について説明できる。 ・筋，靭帯，神経，血管，内臓を正しく解剖し，諸構造の機能的な関連性を念頭におきながら観察することができる。	C
2	発達，成長，加齢，死 ・加齢性の変化，死後の変化を観察することができる。	
4	病因と病態 ・病変，手術痕，破格などについてその病因，原因を推察することができる。 ・剖出した解剖体の不明な点について，資料をもとに自分たちの力で解明することができる。	D